

ガバナー公式訪問 多摩南グループ

東京町田サルビアロータリークラブ

幹事 清野 修一

日時：2009年11月16日(金) 懇談会 11:05~12:00
合同例会 12:30~13:30

場所：於 ホテル ザ・エルシィ町田



久邇ガバナー・青木ガバナー補佐・星野地区幹事・黒崎グループ幹事をお迎えし、例会に先立ち懇談会を行いました。

まず木目田会長より、設立以来の「若さとユニーク」という弊クラブのモットーと「明日に向かって!」という今年度の会長テーマについてご説明し、続いて主な事業、障がい学級児童・生徒さんを招待して行うふれあいコンサート、近隣大学の留学生を地域の祭りに招待し神輿を担がせる事業、鶴見川源流の泉の清掃事業、ペットボトルキャップの収集を小学生に呼びかけ回収に伺う事業、町田市で排ガス規制の為古くなった消防車をフィリピンに送る事業などについてご紹介させて頂きました。その中で、特に、神輿の事業については、海外から留学生を募集する大学のパンフレットにその写真が

取り上げられている事、ご協力頂いている町内会の方々と学生との小さな国際交流の話、そして日本人の独特な宗教観の事にまで話が及び、ガバナーより貴重なご意見も頂戴しました。

また、CLPを導入し、これらの事業にメンバー全員で取り組んでいるとはいえ、やはり少人数のクラブにとって最も重要な課題は増強です。現在のクラブにおける取り組み状況をご説明し、アドバイスを頂きました。

その後、行われた東京町田RCとの合同例会においても、ガバナーは増強・退会防止について触れていらっしゃいます。すなわち、海外でメイクアップすると、隣の方がずっと会話が途切れないように話しかけて来たり、ショートスピーチを求められたりと、会話が何よりの御馳走となっているという事でした。

例会を如何に楽しくするか、特に、お互い大いに話をする事が何よりも重要であると、御自身の体験談を交え、分かりやすくお話戴き、終始和やかな雰囲気ですべての事を迎えました。



Governor's
OFFICIAL VISIT